

有老ホーム1棟取得

ベストライフから 不動産事業のラ・アトレ



◀「ラ・ヴィ南浦和Ⅱ」の外観

不動産事業を展開しているラ・アトレ（東京都港区）は4月1日、さいたま市南区にある住宅型有料老人ホーム「ラ・ヴィ南浦和Ⅱ」の土地建物を取得した。今後、高齢者向け住宅事業に関する知見を深め、幅広い分野で

のシニアアセットの取得運用を展開していくという。

同社は昨年3月、名古屋でサービス付き高齢者向け住宅2棟を取得。今年2月には札幌市で介護関連施設1棟を取得し、高齢者向け住宅の取得を進めてきた。今回は、「ラ・ヴィ南浦和Ⅱ」をはじめ

首都圏を中心に全国で有料老人ホーム事業を展開するベストライフのこれまでの実績を評価し、同物件の取得を決定したという。「ラ・ヴィ南浦和Ⅱ」は、2005年8月開設のホームで、24時間

介護・看護を運営戦略の柱とし、主として介護度の重い入居者を対象に運営している。

脱特化全方位型ビジネスモデルを推進している同社は、介護系高齢者向け住宅を保有すること、住宅事業領域の拡大に直接つながる総合不動産企業を目指す。

今回の取得に際しては、有料老人ホームを中心とする高齢者向け住宅への投資業務に専門性を有するリエゾン・パートナーズをアドバイザーとして採用し、同物件取得に際するデュー・ディリジェ

ンスを実施。同件の取り組みを契機に、今後ベストライフが新たに展開する高齢者向け住宅事業に対し可能な範囲で同社としての事業機会の創出にも取り組んでいく。